

医学系研究科総合保健学専攻（博士前期課程）の教育理念を実現する方針

I. 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

(1) 育成する人材像（教育目標）

科学的論理性と倫理性・人間性に富み、国際的視野を持ち、豊かな想像力と使命感を持って保健学研究および保健医療を推進する人を育てます。

(2) 卒業、修了判定時に課している基準（必要要件）

原則として2年以上在学し、所定の授業科目を30単位以上を修得し、主論文を提出して最終試験に合格する必要があります。教育目標と基準に沿った資質・能力を満たした者に修了を認め、修士の学位を授けます。科学的論理性と倫理性・人間性に富み、豊かな想像力と使命感を持って保健学研究および高度の保健医療を推進できることを要件とします。

(3) 修士学位論文の審査基準

論文又は特定の課題についての研究の成果の内容を中心として学識及び研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力について、本研究科等の複数の教員から構成される学位審査委員会により客観的かつ厳正に審査します。

II. 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

医学系研究科(保健学領域)は、「科学的論理性と倫理性・人間性に富み、国際的視野をもち、豊かな想像力と使命感を持って保健学研究および保健医療を推進する人を育てる」ことを博士前期課程の大学院教育の基本方針としています。全学共通の教育目的と学位に照らして設定した「科学的探究心」、「医療管理能力」、「多職種連携」、「専門性と国際的視野」を教育目標におき、次の方針に沿って教育課程を編集し、医学系研究科(保健学領域)の特徴に基づく教育実践と研究指導を行います。(1) 共通科目である「医療管理概論」、「医療技術概論」、「アジアのヘルスケアシステム概論」などにより、医療管理能力や専門性と国際的視野などを育成します。(2) 専門分野に対応した専門科目に加え、先端融合領域を高めるために、他専攻・他研究科の専門科目も履修できるようにし、科学的論理性や探究心を育てます。(3) 入学後も就労を継続する社会人のために、平日夜間、土曜日にも講義を開講します。(4) 保健学研究を推進する基盤として、様々な領域の研究手法を習得できる「基礎医科学実習」を共通科目として開講します。(5) 国際的視野を養うために、保健学領域で国内および海外で先端的に研究をしている人を招いた「保健学セミナー」を開講します。(6) 多職種連携によるチーム医療推進を視野にいた、本学独自の「トータルヘルスプランナー（THP）養成コース」など、高度専門職育成プログラムを提供します。(7) 国際的視野を培うために海外での研修や研究交流会（韓国延世大学との学術交流会）を実施、推奨します。